

INFORMATION

No. 28004

平成28年5月24日

『Gly m 4(大豆由来)・Hev b 6.02(ラテックス由来)』

新規受託開始のお知らせ

この度、下記項目を新たに受託開始いたしますのでご案内申し上げます。

記

【新規受託項目】

検査の手びき掲載頁	項目コード	検査項目	検査内容	
非掲載	4480	Gly m 4 (大豆由来)	検体量	血清 0.3mL
			容器	① 真空採血管(茶色キャップ) (検査の手びき掲載頁200P参照)
			保存	冷蔵
	4482	Hev b 6.02 (ラテックス由来)	報告	3~5日
			検査方法	FEIA法
			基準値	陰性 0.34以下(UA/mL)
			実施料	110点(判断料:免疫学144点)

※裏面もご参照下さい。

●特異的IgE(シングルアレルゲン)FEIA法(判定基準)

クラス	特異的IgE抗体価(UA/mL)	判定
0	0.34以下	陰性
1	0.35~0.69	疑陽性
2	0.70~3.49	陽性
3	3.50~17.4	
4	17.5~49.9	
5	50.0~99.9	
6	100以上	

【受託開始日】 平成28年6月1日(水) 受付分より



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

●Gly m 4 (大豆由来)

Gly m 4 は大豆アレルゲンコンポーネントのうちの1つで、大豆のクラス2食物アレルギーの原因物質です。このタイプの大豆アレルギーは、原因がシラカンバやハンノキなどの花粉による吸入感作であり、共通抗原性がある大豆 (Gly m 4) を摂取した際に口腔症状などの様々なアレルギー症状を呈しますが、従来の特異的 IgE (大豆) では、陰性と判定される場合があることが知られていました。しかし、本項目ではこれらの患者さんの多くを陽性として判定することが可能であり、大豆アレルギー診断補助に有用です。

※アレルゲンコンポーネント：アレルギー原因物質から抽出されるタンパク質の中の単一のタンパク質

▼疾患との関連

食餌性アレルギー

▼関連する主な検査項目

特異的 IgE(シングルアレルゲン)
大豆、シラカンバ、ハンノキ

●Hev b 6.02 (ラテックス由来)

Hev b 6.02 はラテックスアレルゲンコンポーネント (アレルギー原因物質から抽出されるタンパク質の単一タンパク質) の1つで、臨床的な特異度が、既存の特異的 IgE (ラテックス) と比較して高いことが報告されています。そのため、従来の特異的 IgE (ラテックス) では、臨床症状がない方を陽性と判定することもありましたが、本項目と組み合わせて測定をすることで、ラテックスアレルギーの診断補助に有用と考えられます。

▼疾患との関連

職業性アレルギー

▼関連する主な検査項目

特異的 IgE(シングルアレルゲン) ラテックス

●参考文献

奥田 勲, 他: 医学検査46 (10): 1525~1530, 1997 (検査方法参考文献)

福田 恭子, 他: J Environ Dermatol Cutan Allergol 1 (2): 124~130, 2007. (Gly m 4 (大豆由来))

Yagami Aet al: Allergol Int 58: 347~355, 2009. (Hev b 6.02 (ラテックス由来))